

科目コード	E2182	科目名	初等英語(15コマ)				
履修区分	選択	開講期	2年後期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	戸谷 敦子						
授業の概要	(概要) (1) 英語運用力を高めるために英語の5領域(読むこと、聞くこと、話すこと、やり取り、発表)の活動を行い、バランスの取れた英語コミュニケーション能力を身につける。 (2) 英語に関する背景的な知識を学び、授業実践に必要な英語力を身に付けていく。						
DPとの関連	平和を希求し、その教育に努め、幸せな人生を創造しようとする力を身につける						
	人間愛のもと、ケアすることの意義を教育・保育の専門性において学び、専門的な知識・技術との統合を図る力を身につける						
	修得した専門的な知識・技術を活用し、教育者・保育者として実践する力を身につける						
	教育・保育者として、子どもの育ちや学びに関わる問題について時代の変化を見通して研究し、新たな価値の創造を図る力を身につける						
	社会との連携を図り、人々の教育的・保育的ニーズや社会的ニーズに応えることができる力						
DP:ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針)=卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	小学校における外国語活動・外国語の授業実践に必要な実践的な英語運用力と英語に関する基本的な知識を身につける。 (1) 小学校での外国語活動・外国語科の授業に必要な英語運用力(4技能5領域)を授業場面を意識しながら身につける。 (2) 小・中学校の接続を踏まえ、小学校での外国語活動・外国語科に必要な背景的な知識(音声、語彙、文構造、文法、正書法等の他、言語習得論、児童文学、異文化理解)を身につける。						
履修上の注意事項	見慣れない語彙や慣用語等はこまめに辞書をひいて調べる習慣をつけること。(電子辞書可) 携帯使用は禁止						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	オリエンテーション、外国語教育の意義・小中連携を視野にいれて1				テキストの予習と復習、課題、テキスト英文の音読	
	2	外国語教育の意義・小中連携を視野にいれて2				テキストの予習と復習、課題、テキスト英文の音読	
	3	外国語教育の意義・小中連携を視野にいれて3				テキストの予習と復習、課題、テキスト英文の音読	
	4	主要な英語教授法の変遷、言語獲得理論を踏まえて1				テキストの予習と復習、課題、テキスト英文の音読	
	5	要な英語教授法の変遷、言語獲得理論を踏まえて2				テキストの予習と復習、課題、テキスト英文の音読	
	6	要な英語教授法の変遷、言語獲得理論を踏まえて3				テキストの予習と復習、課題、テキスト英文の音読	
	7	小学校英語の指導法・楽しく効果的に1				テキストの予習と復習、課題、テキスト英文の音読	
	8	小学校英語の指導法・楽しく効果的に2				テキストの予習と復習、課題、テキスト英文の音読	
	9	小学校英語の指導法・楽しく効果的に3				テキストの予習と復習、課題、テキスト英文の音読	
	10	振り返り・中間のまとめ				テキストの予習と復習、課題、テキスト英文の音読	
	11	小学校英語の指導者・効果的なチーム・ティーチング1				テキストの予習と復習、課題、テキスト英文の音読	
	12	小学校英語の指導者・効果的なチーム・ティーチング2				テキストの予習と復習、課題、テキスト英文の音読	
	13	小学校英語の指導者・効果的なチーム・ティーチング3				テキストの予習と復習、課題、テキスト英文の音読	
	14	考えさせる指導法-自発的に学び・考える力を育む				テキストの予習と復習、課題、テキスト英文の音読	
15	振り返り、全体のまとめ				テキストの予習と復習、課題、テキスト英文の音読		
成績評価方法	期末試験50%、授業内ワークシート及び小テスト50% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者(出版社)					ISBNコード	
	Let's Have Fun Teaching English from Theory to Practice・Yayoi Obara, Noriko Toyoda, Mari Takahasi, Steven					978-4-523-17893-4	
New Horizon Elementary 5・アレン玉井光枝、他(東京書籍)					978-4-487-10587-8		
参考書	小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語活動・外国語編・文部科学省(開隆堂)					978-4-304-05168-5	
教員からのメッセージ	日頃から英語に触れる機会をつくることや目標(英検、TOEFLなど)を決めて勉強に望むと良いと思います。						
教員との連絡方法	授業後、またはオフィスアワーを利用して下さい。						
実務経験のある教員	国内:公立中学校で英語科教諭として勤務 海外:国際機関での勤務(世界銀行本部(アメリカ合衆国ワシントンD.C.)、ユニセフ本部(アメリカ合衆国ニューヨーク)、JICA(ワシントンD.C.)) 日本語補習校で社会科教諭として勤務						